



千葉労働機関

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.11.20 No.4882

全支部の先頭をきって

千葉機関区支部第3回大会開催

新F21六千人体制粉碎 低額格差回答阻止へ!

千葉機関区支部第三回支部定期大会が、十一月十四日十三時より千葉機関区において開催され、新フレイト21・貨物六千人体制粉碎、年末手当低額格差回答阻止などを闘いぬくことを確認した。

支部大会は冬木浩明君を議長に選出して進められた。はじめに的場支部長から、今日ここに第三回大会をむかえることができた、今貨物職場は新F・21で進む合理化や、賃金・ボーナス・ベアなどの格差を打破しなければならぬ、大会を成功させ闘う方針を確立しよう、忌憚のない意見・活発な討議をお願いしたい、とあいさつを受けた。

つづいて来賓として本部中野委員長よりあいさつを受け、中江昌夫船橋市議の祝電が披露された。その後執行部より経過報告、会計報告、運動方針、予算案の提案が行なわれ、質疑に入

質では次の意見が出された
●旅行会の支部主催について、千葉線へのルートの変更が出されているが、千葉機関区・新小岩派出の関係がどうなるのか、
●年末手当で東との格差になると思うが、格差が出たときストライキをやるのか、

●60才まで働ける労働条件の確立というが、高齢者対策として内勤・技術などやっていて、仕事が増えるが賃金は70%ではこれからどうもっていいばいいのか、

●遠距離通勤の解消について、これに対し、出席した本部布施副委員長、田中書記長、支部執行部などからそれぞれ答弁がされ、拍手で議案を承認した。最後に新役員を選出し、的場支部長の団結ガンバローで支部大会は成功裏に終了した。
新たに選出された役員

役職	氏名	職名
支部長	的場 正和	運転士
副支部長	冬木 浩明	"
書記長	大竹 哲治	"
書記次長	樋口 徳浩	"
執行委員	根元 英治	車・技
"	中台 政幸	事務
"	石川 二郎	運転士
"	鎌形 哲男	"
会計監査	山田 廣一	"
"	山倉 魁	"

◆当面する取り組み◆
貨物格差粉碎！
十一月二十五日(水)
一五時から
と き 十一月二十五日(水)
一五時から
と ころ 千葉機関区
新小岩派出
全支部から全力で揃集しよう

木戸君脱退強要行訴 会社側・河野証人に対して尋問 JRRの不当労働行為 ますます鮮明に!

十一月十九日、十三時三〇分から、東京地裁において、「木戸君脱退強要事件」行政訴訟の第六回公判が行なわれ、会社側証人として河野浩一証人(本件当時、千葉支社事務課長)に対する証人調べが行なわれた。

作られたもだ、などとして開き直ってきた。

河野証人は、木戸君が出向先から復帰する時に行なった二回にわたる面談の内容について、一回目の面談での「千葉線は発展するところだから動労千葉は回さない」「今いる者はなんとかする」などの発言や二回目の面談での「千葉運転区に行きたいなら何か確証を見せてください」などの発言を一切行なっていない、組合をやめろということとは言ったこともなく、創作で